

整理番号 2022M-087
補助事業名 2022年度スマートマニュファクチャリング国際標準化支援等に関する調査研究
補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

新しいモノづくりとして世界で活用が急進展している「スマートマニュファクチャリング(SM)」における我が国の取組は、企業の事業展開・活用の面では出遅れている他、国の競争力を左右する国際標準化分野でも大きく遅れを取っている。この分野での標準規格策定の指針となる「標準化ロードマップ」は我が国では構築されていないため、企業や標準規格作成団体等での取組はバラバラで独自に対応しているのが現状。本補助事業では我が国初のSM標準対応の戦略文書となる「標準化ロードマップ」を作成、その活用を進展させることにより、企業でのSM活用を促進させるとともに、我が国主導の国際標準獲得の道を広げることを目的とする。

(2) 実施内容

スマートマニュファクチャリング国際標準化策定支援等検討部会を設置、本補助事業実施を統括した。スマートマニュファクチャリング(SM)分野の専門組織であるロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)の協力の下、RRI内のロードマップ策定関連活動(戦略文書策定)に関するサブグループを中心に作業を進め、我が国初のものづくり標準化戦略文書となる「ものづくり標準化ロードマップ 中間報告書」最終版を作成した。また、SM分野では世界の最先端を行くドイツのものづくり標準化戦略文書の最新文献である「ドイツ標準化ロードマップIndustrie 4.0」の英文和訳版を作成した。作成資料は、日本機械工業連合会HPに掲載した。なお、作成資料の主要目次は次の通り。

● ものづくり標準化ロードマップ 中間報告書

エグゼクティブサマリー

1. はじめに
2. 標準化戦略の世界動向
3. 「ものづくり標準化ロードマップ」の作成アプローチ
4. サブグループの活動報告
 - 4-1. サブグループ1:ものづくり将来像
 - 4-2. サブグループ2:技術ロードマップと標準化要件の整理
 - 4-3. サブグループ3:日本の国際標準化活動

5. まとめと展望

●ドイツ標準化ロードマップIndustrie 4.0 英文和訳版

1. 概説
2. 序論
3. 進捗状況第2章:コアトピックスの標準化の必要性
4. 進捗状況第3章:分野横断的トピックスの標準化の必要性
5. 将来の展望

2 予想される事業実施効果

我が国におけるスマートマニュファクチャリング分野では初となる標準化戦略文書と位置付けられる「ものづくり標準化ロードマップ(中間報告書)」およびドイツのものづくり標準化戦略文書に係る最新文献である「ドイツ標準化ロードマップ進捗状況報告書」邦訳書は、スマートマニュファクチャリングに関する事業を展開する企業にとり、今後の事業戦略策定や再構築に貢献できるとともに、スマートマニュファクチャリングに係る業界団体に対しては、各分野における国際標準策定の道筋を与えることが予想される。

3 補助事業に係る成果物

1. ものづくり標準化ロードマップ Version 1.1 中間報告書
(<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2948/3217.html>)
2. ドイツ標準化ロードマップ進捗状況報告書 邦訳
(ドイツ標準化ロードマップIndustrie 4.0 英文和訳版)
(<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2948/3240.html>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本機械工業連合会(ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

所在地： 105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館5階

代表者： 会長 東原敏昭(ヒガシハラ トシアキ)

担当部署： 企画部(キカクブ)

担当者名： 河野 誠(カワノ マコト)

電話番号： 03-3434-5381

F A X : 03-3434-2666

E-mail : kawano@jmf.or.jp

U R L : <http://www.jmf.or.jp/>